

不燃系災害廃棄物の受入れについて

平成 25 年 5 月 30 日
環 境 部

1 概要

東日本大震災に係る廃棄物の処理計画として岩手県が策定した「岩手県災害廃棄物処理詳細計画（平成 24 年 5 月改訂）」において、処理方法について要検討とされていた不燃物のうち有機物が 5%を超える「管理型土砂混合くず」（以下「不燃系災害廃棄物」という。）の埋め立て処分について岩手県から要請があり、盛岡市リサイクルセンター最終処分場の周辺住民や関係協議会に説明し、理解を得ながら準備を進めてきたものである。

市としても最終処分場において不燃系災害廃棄物の埋め立て処分することにより、沿岸被災地の一日も早い復興に貢献できるものと考え、受入れを進めようとするものである。

* 管理型土砂混合くず

破碎選別施設から発生する土砂系不燃物（コンクリート片、壁材、プラスチック等が細かく混じり合ったがれき）のうち、細かい木くず等の混入量が多いため利用が困難なもの。

2 岩手県からの要請内容

災害廃棄物のうち可燃物及び柱材・角材の処理は県内処理施設及び県外自治体からの申出による広域処理により概ね受入れ先の目途が立ったところであるが、不燃系災害廃棄物について、県内市町村等の管理型最終処分場において処理をお願いしたい。

3 受入れ要請経過等

<平成 24 年度>

- 10 月 2 日 岩手県環境生活部長より不燃系災害廃棄物の埋立処分要請(文書)
- 11 月 21 日 リサイクルセンター廃棄物処分場環境保全対策協議会で説明
一部委員から受入れ反対の意見あり。
- 1 月 15 日 市長に対し岩手県環境生活部長による不燃物受入要請
(※1月9日～15日 同 県内 12 市町村を訪問)
- 1 月 29 日 リサイクルセンター廃棄物処分場環境保全対策協議会で説明
不燃物の内容に関する資料提示を求める意見あり。
- 3 月 1 日 リサイクルセンター廃棄物処分場環境保全対策協議会で説明
県が不燃物の安全性を説明し、受入れについて理解を求めた。
県が提示した資料では放流水についての安全性が確認できないとして、出席していた委員から資料の追加を求められた。

3月26日 リサイクルセンター廃棄物処分場環境保全対策協議会で説明
県が宮古地区広域行政組合の不燃物に関する資料を追加提出し、改めて安全性について説明した。協議会の知識経験者委員の受入れ可との意見もあり、地域選出委員からは概ね理解が得られたものの、最終的には地元の意見を聞くべきとの意見であった。

<平成25年度>

4月23日 釘の平、川又自治会説明会開催

一部反対の意見もあったが、概ね理解が得られた。

4月26日 4月23日の説明会の概要をまとめた文書を釘の平、川又自治会の全世帯に配布

5月15日 リサイクルセンター廃棄物処分場環境保全対策協議会に報告

釘の平、川又自治会説明会にて説明し、出席した住民から概ね理解が得られたことを報告した。

5月21日 岩手県災害廃棄物処理対策協議会の開催

岩手県災害廃棄物処理詳細計画の改訂を審議した。

(内陸市町村等に処分を依頼する廃棄物の種類、量等)

4 不燃系災害廃棄物の受入れの概要等

受入れ災害廃棄物の種類 細かい木くず等が混入した不燃系災害廃棄物

受入れ期間 平成25年8月～26年3月(予定)

受入れ量 最大4,000トン(約3,100m³)

受入れ施設 盛岡市リサイクルセンター(一般廃棄物管理型最終処分場)

処分方法 埋立て処分

5 その他

今後のスケジュール

8月頃 岩手県と不燃系災害廃棄物処理に関する契約の締結

災害廃棄物処理の現況

岩手県環境生活部

1. 処理の進捗状況（平成 25 年 3 月 31 日現在）

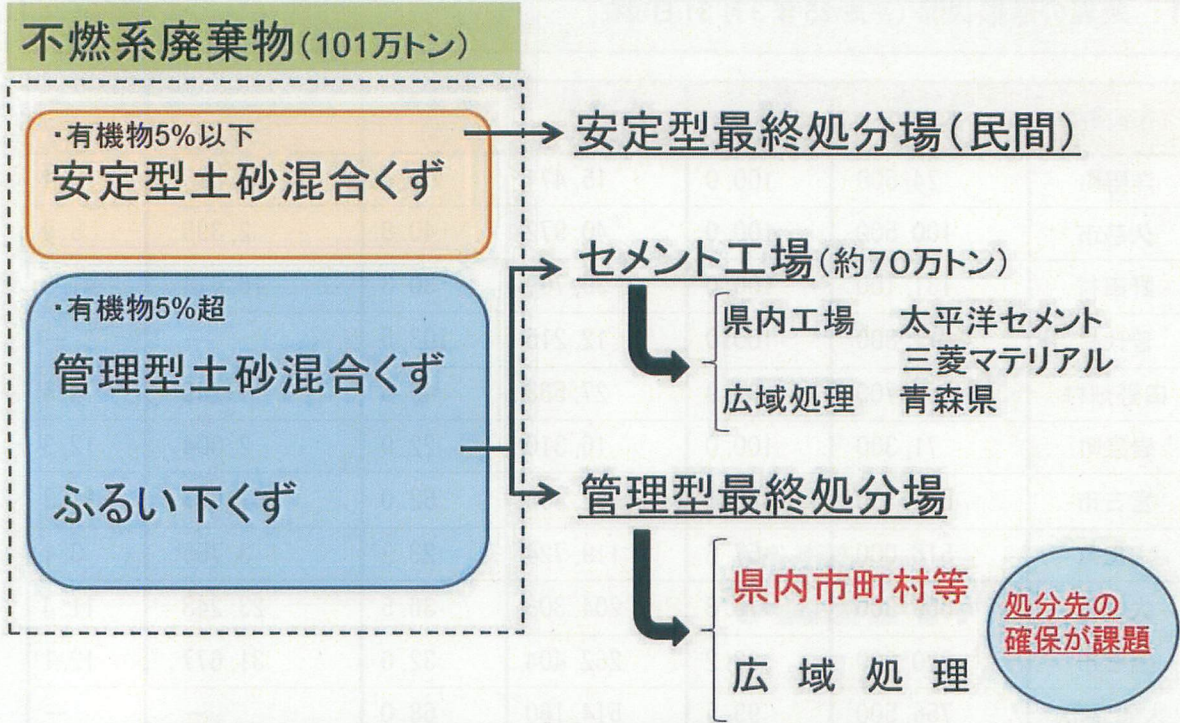
市町村	推計量 (t)	撤去率 (%)	処理量 (t) A	進捗率 (%)	うち広域処理量 (t) B	B/A (%)
洋野町	24,500	100.0	15,474	63.2	833	5.4
久慈市	100,500	100.0	40,972	40.8	2,398	5.9
野田村	131,100	100.0	39,759	30.3	16,614	41.8
普代村	11,800	100.0	12,215	103.5	—	—
田野畑村	55,700	86.9	27,568	49.5	1,249	4.5
岩泉町	71,300	100.0	16,310	22.9	2,004	12.3
宮古市	542,800	96.1	282,358	52.0	31,893	11.3
山田町	516,000	57.6	119,724	23.2	3,755	3.1
大槌町	559,300	76.8	204,308	36.5	23,243	11.4
釜石市	820,900	83.2	262,404	32.0	31,677	12.1
大船渡市	756,500	99.5	514,160	68.0	—	—
陸前高田市	1,660,000	81.8	504,324	30.4	10,653	2.1
合計	5,250,400	84.4	2,039,575	38.8	124,319	6.1

岩手県全体の推計量：525万 t

処理量：204万 t 進捗率38.8% (H25.3.31現在)



2. 不燃系廃棄物の処理フロー



3. 不燃系廃棄物とは

不燃系混合物から再生利用可能な土砂(分別土)を分ける。
土砂が除かれた後の不燃系廃棄物は、細かい木くずが混じっている状態でセメント工場以外では埋立処分するしかない。

【不燃系混合物の山】



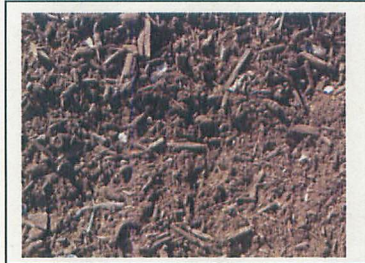
【選別作業】



【①分別土】



【②管理型土砂混合くず・ふるい下くず】



【③安定型土砂混合くず】



- ①分別土…復興資材として公共工事で活用
- ②管理型土砂混合くず(木くずが多いもの)…管理型最終処分場で処分
- ③安定型土砂混合くず(木くずが少ないもの)…安定型最終処分場で処分